

下山様

すっかりご無沙汰しておりましたが、お変わりなくご活躍でしょうか。
スペイン旅行中の、思いがけない主人の発病以来2カ月が過ぎました。
この激動の2カ月を振り返った時、そこにはいつも頼もしくも美しい下山様の笑顔が浮かびます。

早朝、主人の体の変調に気づき言葉のわからない地での戸惑いの中、知人に医療通訳者として下山様をご紹介頂きました。

それは不幸の中でも私たちに訪れた幸運であったこと、神様に感謝いたします。
郊外の病院にタクシーで駆けつけた私たちを待っていて下さったのは、すらっと背の高い妙齢のご婦人…そして、キャリアウーマンの下山様です。
テキパキと私たちを誘導して下さりながらも、笑顔と温かい言葉を常にかけて頂き不安な気持ちも和らいでいきました。

時が経つにつれ下山様のお人柄に魅了され、病室に下山様が笑顔と共に訪れて下さった途端私たちの心もパッと明るくなりました。

ドクターやナースにも Yuki・Yuki と愛されて、お蔭様で私たちも居心地良く病院生活を送ることができました。

そして時には優しいだけではなく、1日も早く日本に帰ることができるようドクターを説得して下さったり、少額の保険にしか入ってなかった私共のために事務の方とも医療費をめぐり丁々発止と戦って下さったり。

その姿は凛々しく、私は言葉がわからないながらも頼もしく拝見いたしました。
お仕事とは言え、常に私たちを気遣ってくださり私たちの身になり助けて頂きました。

残念な旅行になりましたが、退院後下山様にご紹介頂いたクラシックなホテルのロケーションが素晴らしく、ツアーでは味わえないバルセロナを堪能できました。

ピカソ美術館に行ったり、日本食を味わったり、足元の危ない主人のために何十年ぶりかで手を繋いで散歩したり…と楽しみました。

日本に帰国できる日まで、少しでも私たちが快適に過ごせるようにとのお心遣いが嬉しかったです。

また、日本に帰ってからも高額医療費のためにあれこれとお願いする私に、いつも快諾して頂き、感謝申し上げます。

あれもこれも、本当にありがとうございます。

最後になりましたが主人の現在を報告させていただきます。

帰国してから思いがけない長期の入院生活になりましたが、今では普通に近い生活を送っております。

意欲だけは満々で、来週から近くのスポーツジムで鍛えると張り切っていますが…無理は厳禁…と私はハラハラ。

そうそう、主人はバルセロナでのアクシデントを知人に話す時必ず「医療通訳の優秀な人に世話になってね」と自慢しております。

滅多に人を誉めない主人が認める下山様のお仕事ぶり、私もそこは同感で傍で「うんうん」と頷いております。

下山様はじめ、ドクターやナースの皆様のお蔭で元気になりました。

メディカルセンター テクノンの皆様にも宜しくお伝えくださいませ。

日本では五月晴れから梅雨に入ろうとしております。

スペインの気候はどんな模様でしょうか。

下山様もお健やかに過ごしになり、救いを求める日本のご病気の方々のサポートでご活躍くださいますよう、遥か遠い日本の田舎よりお祈りしております。

思いがあふれて長文になりました失礼、お許しくくださいませ。

鈴木 拝

2017年5月